

生物多様性に配慮した事業活動と地域活性化を促進するための

生物多様性地方総合展示会開催事業

(1) 事業の概要

2008年5月にドイツで開催された生物多様性条約第9回締約国会議（COP9）では、ドイツ政府による「ビジネスと生物多様性イニシアティブ」に日本企業9社を含む35社が署名するなど、ビジネスと生物多様性が国際的に大きくクローズアップされた。

2010年のCOP10においても、主要議題の一つとなることが予想され、我が国においても経済界との連携のもと、取組の一層の推進を図っているところ。

国内でも、2009年3月には経団連が検討してきた「日本経団連生物多様性宣言」が発表されたほか、2009年夏には環境省が検討中の「生物多様性民間参画ガイドライン（仮称）」が完成する予定であり、財界・環境省が取組を進めていく予定。

一方、昨今の経済情勢の急激な悪化等により、企業活動を取り巻く状況は急激に悪化しており、競争力の小さな地方企業等を中心に、生物多様性に向けた取組の停滞が懸念され、COP10に向けた緊急の梃子入れが必要となっている。また、昨今の不況下では、新たなビジネスチャンスや雇用機会の創出、付加価値を付けた一次産業等の発掘なども含め、地域活性化を模索する必要がある。

このため、本事業では、生物多様性をビジネスチャンスとして捉える企業や生物多様性に配慮した農林水産業やエコツーリズム等により地域活性化を図る団体等が一堂に会し、互いの情報交換や新たな連携を推進する場と機会を提供し、事業活動等における生物多様性への配慮と地域活性化を推進する。

(2) 事業計画

各地域で取組を行っている企業、農林水産業や地域固有の生物多様性に根ざした食文化、工芸、芸能などに関する団体、生物多様性に関連する技術開発や研究を行っている大学や研究機関、地域を問わず生物多様性に関する認証制度を行う団体や企業と実際に連携しているNGO、経済団体、政府や地方自治体等を出展者とする展示会を全国3箇所程度で開催。
2009年夏に完成予定の「生物多様性民間参画ガイドライン（仮称）」の説明会や、他地域の事例の紹介などのミニ・イベントも併せて開催。

(3) 事業実施主体 環境省

(4) 予算額 222百万円

生物多様性に配慮した事業活動と地域活性化を促進するための 生物多様性地方総合展示会開催事業

国際的にビジネスと生物多様性が大きくクローズアップ

COP9(2008)でドイツ政府がビジネスと生物多様性イニシアティブを立ち上げ
COP10(2010)でもビジネスと生物多様性は主要議題の一つ

COP10に向け国内の取組を推進

環境省による取組

生物多様性に配慮した企業活動を支援する
ためのガイドラインの作成(今夏目途)

事業者による取組

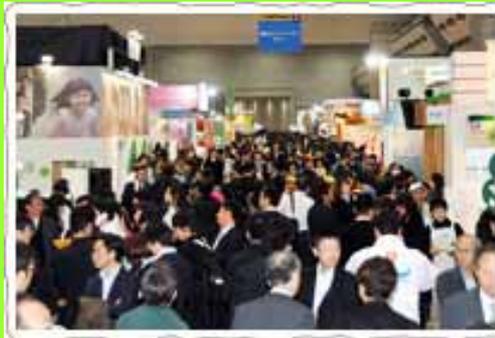
日本経団連生物多様性宣言等

経済情勢の悪化による企業等の民間参画の意欲減退のおそれ
COP10に向けたテコ入れの必要性

生物多様性地方総合展示会の開催 → 情報交換・新たな連携を促進する場の提供

出展者

企業	技術開発・研究機関
大学・教育機関	組合・団体
NPO・NGO	行政機関



分野

事業活動	伝統工芸・芸能	食文化
農林水産業	技術開発・研究	
地域活動	エコツーリズム	環境教育

生物多様性に関する新たなビジネスチャンスの創出
COP10に向け、産官学民の交流・連携と地域活性化の促進
生物多様性への参画企業の大幅増(2009年10社程度→100社へ)